

新しい内科専門医制度に向けて

当院は基幹施設ではありませんが、国家公務員共済組合連合会虎の門病院、公立学校共済組合関東中央病院、日本赤十字社医療センター、東邦大学医療センター大森病院、国立病院機構東京医療センター、自衛隊中央病院、東京大学附属病院と連携を行っており、これら基幹病院の専門研修関連施設となっています。基幹病院の研修プログラムは元より、当院独自の特徴として、総合内科に重点を置いた実践的教育を行ない、幅広い知識と技能を習得して地域の医療事情を理解し、実情に合った医療を実践する柔軟性の高い内科医を育成することを目標とします。

基礎的な問診と理学的診療を身につけ、迅速かつ正確に初期診断を下す能力と、診療開始時に得られた限られた情報をもとに、適切なトリアージと初期治療によって診療をすすめる対応能力が必要とされます。このような能力を養うためには、経験豊かな指導医のもとで、前情報のない重症患者を診ることが望まれます。

また、通常の医療は全力をあげて患者さん救命する超急性期、病状を快方に向かわせる急性期、社会復帰までの支援をする回復期、安定した状態を維持する慢性期の4段階に分かれ、各段階にかかわる職種からなる医療スタッフとも円滑にコミュニケーションをとり、一貫性のあるマネジメントを行なう能力も必要となります。内科医にとって、各専門領域の Subspecialty を獲得することは大切ですが、まずは初診患者に対する迅速な対応と患者背景を考慮した総合的な診療が行えるようになるための基本を所得することが必要です。

当院の医療圏である目黒区・世田谷・渋谷区一体は、合わせて120万を超える人口とともに、急激な少子・高齢化問題を背景に抱えています。中でも東京都区で最も人口の多い世田谷区は、65歳以上の高齢者人口は15万人（高齢化率：18%）を超え、超高齢時代を迎えています。当院は主に近隣のクリニック、老健施設、亜急性期型の病院と密に連携をとり個々の患者背景を理解し、その実情に合わせた実践的な医療を行えるよう、主担当医として各症例の診療に当たっていただきます。

専門疾患・領域における入院症例数（実数）＜2015年度；日本内科学会に申請時＞

総合内科	130	血液	281
消化器	872	神経	522
循環器	425	アレルギー	4
内分泌	16	膠原病	16
代謝	135	感染症	76
腎臓	188	救急	96
呼吸器	327		

現在、当院で後期研修を受け入れることが可能な診療科は、**消化器科、内分泌・代謝科、呼吸器科、血液内科、神経内科**となっています。原則、1診療科につき3か月間ローテーションとなっています（2018年9月1日現在）。

各診療科の指導医の下、内科救急外来や救急当直にも携わっていただき、初期対応についても学んでいただく予定です。（当直は月2回、平日の午前または午後の急患当番は週1回）

内科系診療科における入院症例数（実数）＜2017年度＞

消化器科（消化管、肝、胆、膵疾患等）	809
内科（呼吸器科を含む）	484
血液内科	476
内分泌・代謝科	468
神経内科	368
循環器科	306

内科研修プログラムにおける**専門研修連携施設の概要**（2016年3月申請時）

国家公務員共済組合連合会 三宿病院

<p>認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり、すべての職員に利用可能です。 ・病院宿舎が研修医用に整備されています。
<p>認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内科指導医が13名登録されています。 ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催し（2015年度実績 医療倫理2回、医療安全2回、感染対策2回）、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPCを定期的開催（2015年度実績 内科系のみで計13回・第2又は第4金曜日に約1時間程度）。専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンスとして、毎年12月に開催される世田谷医師会医学会に参加もしくは発表することで、地域の医療実態を研修できます（2016年度実績 発表演題数5題）
<p>認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに示す内科領域13分野のうち、総合内科、消化器、循環器、代謝、内分泌、呼吸器、感染症、神経内科および血液の分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。 ・専門研修に必要な内科症例の剖検（2014年度実績11体、2015年度17体）を

	行っています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・日本内科学会講演会あるいは同地方会にて学会発表（2015 年度発表実績 5 演題）を行っています。その他の内科系学会における総発表数は 38 演題になります。 ・倫理委員会を設置し、定期的開催（2015 年度実績 6 回）しています。 ・治験管理センターを設置し、定期的受託研究審査会を開催（2015 年度実績 11 回）しています。 ・専攻医が国内・国外の学会に参加・発表する機会があり、和文・英文論文の筆頭著者としての執筆も定期的に行われています。
指導責任者	<p>増岡 和宏 医学教育部長 兼 血液内科部長</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>当院は東京都目黒区と世田谷区の境界に在する中規模クラスの病院ですが、病院周辺を主とする地域住民を対象に医療のあらゆるニーズに対応できるように 24 時間 365 日の救急体制（二次救急）を整えています。当院の入院病床数は 244 床と決して多くはありませんが、脳神経外科の 24 時間救急受付（SCU 10 床整備）、整形外科の休日平日救急受付など、急性期の患者および事故対応に即応した体制をとっています。内科系において、消化器科は連日オンコールあるいは当直を常備し、夜間も緊急内視鏡を行うことが可能であり、同時に消化器外科もオンコール体制にて夜間の手術対応が可能です。循環器科は CCU ネットワークに参加し、24 時間の救急心カテーテル検査・治療が可能。多くの在宅や療養型病院の後方支援病院として、これらの施設からの夜間救急対応も受け入れています。我々病院スタッフは患者さんをはじめとする全ての人々と、共に力を合わせて安全で信頼される質の高い医療を行うことのできる医師の育成を目指します。</p>
指導医数 (常勤医)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本内科学会指導医 13 名、 ・日本内科学会総合内科専門医 11 名 ・日本消化器病学会消化器病専門医 7 名、 ・日本肝臓学会肝臓専門医 4 名 ・日本糖尿病学会糖尿病専門医 3 名、 ・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 2 名、 ・日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名、 ・日本血液学会血液専門医 3 名、 ・日本神経学会神経内科専門医 2 名、 ・日本循環器学会循環器専門医 3 名、 ・日本救急医学会救急科専門医 1 名 など <p>註：総合内科専門医と循環器専門医は自衛隊中央病院より出向した医官の常勤医をそれぞれ 3 名と 3 名を含んでいます。</p>
外来・入院患者数 (2015 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者数 5,081 名 (1 か月平均) ・入院患者数 201 名 (1 か月平均)
経験できる疾患群	<ul style="list-style-type: none"> ・研修手帳（疾患群項目表）にある疾患は稀な例を除き、ほぼ全てに対応しています。
経験できる技術・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づいて幅広く経験することができます。
経験できる地域医療・診療連携	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションがあり、希望者は参加できます。 ・当院周辺にある多くの在宅や療養型病院の後方支援病院として、これらの施設からの救急搬送を 24 時間で対応しています。 ・目黒区医師会の学術行事に参加できます。 ・世田谷区医師会の学術行事または医学会に参加発表できます。
学会認定施設 (内科系)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本内科学会教育病院、 ・日本消化器病学会認定施設、

	<ul style="list-style-type: none">・日本消化器内視鏡学会認定施設,・日本リウマチ学会認定施設,・日本神経学会認定教育施設,・日本糖尿病学会認定教育関連施設,・日本呼吸器学会認定施設,・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設,・日本血液学会認定施設,・日本脳卒中学会研修教育認定病院,・日本がん治療認定医機構認定研修施設,・日本感染症学会研修施設,・日本救急医学会専門医認定施設,・日本内分泌学会認定教育施設,・日本認知症学会教育施設,・救急告示病院(東京都指定二次救急医療機関),・臨床研修病院指定病院
--	--

問い合わせ先

《病院見学》

病院見学も受け付けています。 医学教育部長宛てに mail で御連絡ください。

三宿病院血液内科部長（医学教育部長） 増岡和宏

メールアドレス : masuoka@mi-shuku.gr.jp